



11月

『もっと知りたい小泉八雲』 小泉八雲記念館[監修]/東京美術/930. 26 コイ
ギリシャ生まれのアイランド人で、日本の妖怪の物語集「怪談」を執筆した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)。その生涯を辿りつつ、八雲の精神に影響を与えたであろうギリシャ神話、ケルト妖精譚などを図版を交え紹介する。
西洋から日本まで、豊富な絵画のカラー図版は見るだけでも楽しめます。日本に辿り着くまでの八雲を知ると、 NHK 連続ドラマ『ばけげん』の世界はさらに深く感じられるかもしれません。



『中国思想の基礎知識』
湯浅邦弘/KADOKAWA/122 17
戦乱期の諸子百家に始まり、儒教を軸として育まれた中国思想。重要概念から、経書とその成立、故事成語や処世訓の思想的背景まで、日本の文化にも大きな影響を与えた中国思想の基礎知識を、最新研究を踏まえて解説する。

『倫理思考トレーニング』
伊勢田哲治/筑摩書房/150 4 他
わかり合えない人と話し合うために。意見のすれ違う人と話し合うのは不毛か。「論破」したら勝ち、でいいのか。「価値観の壁」を越え、生産的に議論するためのクリティカル・ディスカッション入門。

『羽柴秀長とその家臣たち』
黒田基樹/KADOKAWA/210. 4 加
羽柴秀吉の弟で、一門筆頭を務めた秀長。家老筆頭であった桑山重晴、軍事・外交に活躍した藤堂高虎、領国の統治支配に奔走した小堀正次と横浜良慶…。秀長を支えた重臣 18 人の動向を史料から解明し、その実像に迫る。

『図説イギリスの文化史』
指昭博/河出書房新社/233 9
大聖堂、シェイクスピア、庭園、ゴシック・リバイバル、探偵小説、ビートルズ。美術、建築、文学、科学などのあらゆるジャンルを横断しながら、中世から 20 世紀までのイギリスの文化の歴史を、多くの図版とともに解説する。

『「ふるさと回帰」という選択』
澤千絵/岩波書店/318. 6 9
長年にわたり、移住相談センターとして、地方移住の流れを牽引してきた「ふるさと回帰支援センター」。青森県の移住・交流相談員が自らの経験や移住者たちの声を交え、移住の歴史的背景、「いい移住」への課題などを考察する。

『選ばない仕事選び』
浅生鴨/筑摩書房/366 7 青少年
世の中にあるほとんどの仕事を僕は知らない。だから、まだ決めなくていい。将来に悩んだり困ったりしている中高生に、仕事や働き方についての考えや、いろいろな仕事との出会いを語る。『WEBちくま』連載をまとめる。

『福祉は誰のため?』
竹端寛/筑摩書房/369 7 4
支援が必要な人は「困った人」じゃない。元気な人も誰かの助けが必要になることもある。どういう価値観でわたしたちは生きているのか、それはどんな風に私やあなたを追い詰めるのかを、様々な事例に基づきながら考える。

『難聴を生きる』
宿谷辰夫[編]/岩波書店/369. 2 1
身近にたくさんいるにもかかわらず、難聴者や中途失聴者が生きる現実はほとんど知られていない。日常にある孤独から、仕事での苦労、あるべき支援や聴覚補償まで、多くの当事者たちの声とともに伝える。

『工業科高校』
福田伊佐央/ペリかん社/376. 4 7 青少年
金属や木材を加工する伝統的な技術だけでなく、プログラミングや AI(人工知能)などの最新知識も学ぶ工業科高校。その勉強内容・行事・卒業後の進路などを、教員や生徒、卒業生へのインタビューを交えて紹介する。

『名水と日本人』
鈴木康久/中央公論新社/452. 9 ス
日本人と縁が深い水。[名水]というキーワードから日本人と水の関わりを案内。弘法大師伝説が全国に広がった理由や、歌枕になった名水、茶の湯・酒造と名水などを時代ごとに解説する。名水の歴史と科学、文化を伝える一冊。

『超巨大噴火と生命進化』
佐野貴司/講談社/453. 8 9
大量絶滅のたびに、生態系の支配的な生物は入れ替わってきた。超巨大火山の活動が地球規模での環境変動を引き起こし、大量絶滅や生物進化の原因になったという、現代地学のホットな話題を紹介する。

『痛いところから見えるもの』
頭木弘樹/文藝春秋/490. 4 9
なぜ痛みは人に伝わりづらいのか？潰瘍性大腸炎から腸閉塞まで、絶望的な痛みとともに生きていた著者が、同じ体験をしていない人にも共感してもらえるよう、「痛み」という個人的な体験を文学作品を多用しながら語る。

『アルツハイマー病の一族』
ジェニー・エリン・スミス/原書房/493. 7 ス
コロンビアの山奥に、若年性アルツハイマー病が遺伝する一族がいる。この驚くべき遺伝病の真相を追い始めた医師たちはやがて、世界初の認知症治療薬の開発をめざして医学史の一步を踏み出し…。知られざる 40 年の闘いの記録。

『建築を楽しむ教科書』
倉方俊輔/ナツメ社/523. 1 7
知られざる建築の魅力が満載！明治時代の洋館から、第二次世界大戦後のモダニズム建築、21 世紀の現代建築に至るまで、絶対に見てほしい近現代建築 30 をピックアップして紹介。建築の歴史、代表的な建築家なども掲載する。

『はじめての和紅茶ガイド』
青嶋ひろの/グラフィック社/596. 7 7
和紅茶とは、日本国産の紅茶のこと。2025 年現在の和紅茶を「香りと味わい」「キャラクター」「品種」の 3 つの切り口で紹介。出会ってほしい 30 の生産者、おすすめ生産者の紅茶との出会い方も掲載する。

『フルーツのおいしい図鑑』
くだもんずラボ[編著]/オレンジページ/625 7 4
フルーツを「甘味」「酸味」「料理」のカテゴリーで分類した図鑑。フルーツの花と実、産地がわかる地図、栄養素チャート、味わい尽くすヒント、効果的に用いた料理を紹介。レシピも収録。

『締切と闘え!』
島本和彦/筑摩書房/726. 1 7
苦しい時こそニヤリと笑え！締切を守って 40 年。熱血漫画家がスケジュール管理、ピンチを乗り切る方法、そして生き方を語る。付録「カウントダウン book 傑作選」も収録。

『Cute & Funny な折り紙』
満田茂/ナツメ社/754. 9 1
鬼の顔、ハロウィンガイコツ、ハートの女王、よちよちペンギン、冬眠の準備をするリス…。「かわいらしさ」にこだわった、24 の難しい折り紙作品を掲載。その折り方をカラーイラストでわかりやすく紹介する。

『万葉集のたくらみ』
品田悦一/KADOKAWA/911. 12 1
長屋王の変や天然痘流行などを経て、混乱に陥る聖武天皇の治世。暗黒時代への転落を「万葉集」は口ごもりがちに物語り…。万葉集の歌々がどう組織され、連関させられているかを読み解き、万葉人のメッセージを明らかにする。

『九年目の魔法』
ダイナ・ウィン・ジョーンズ/東京創元社/933 1 3 文庫
この本、こんな題名だった？壁にかかっているのもこんな写真じゃなかったはず。この 9 年間にあったことと、今おぼえていることが違っていて…。「ハウルの動く城」の原作者が、少女の愛と成長と闘いを綴った現代魔法譚。

『真珠配列』
岩井圭也/早川書房/F 1 7
2029 年、北京。常軌を逸した速さで進行する癌で有力政治家の息子が死亡し、同様の癌での死亡事例が見つかる。これは偶然なのか？刑事偵査総隊の刑事アロンは捜査を始めるが…。『ミステリマガジン』連載を加筆修正。

『パッチーズ』
佐藤まどか/岩崎書店/F 9 4 青少年
柊はある日クラスメイトと揉めた拍子に、フーディの左肘の生地をすりきらせてしまう。そこで考えたのは「パッチ」だった。学校生活、家庭事情、お金のこと…悩める中学 2 年生・柊のパッチワークストーリー。

『英雄の輪』
真藤順文/講談社/F 1 7
あの島の「英雄」はひとりじゃなかった。時代も年齢も多種多様な「戦果アギヤー」の姿を描く、6 つの「宝」の物語。「宝島」の続編。『小説現代』掲載を大幅に加筆・修正、書き下ろしを加え書籍化。

『白鷺立つ』
住田祐/文藝春秋/F ス
天明飢饉の傷痕いまだ癒えぬ比叡山延暦寺に、失敗すれば死といわれる千日回峰行を成し遂げようとする 2 人の仏僧がいた。歴史に名を残すための闘いは、やがて業火となり叡山を飲み込んでいく…。

『天上の火焰』
遠田潤子/集英社/F 1 4
大らかな性格で孫に優しい人間国宝の祖父。息子に無関心な轡轡の名手の父。物心つく前に母を亡くした城は、陽と陰のような二人の間で育ち、悩み苦しんで…。備前焼窯元一家の再生と継承を描く。『小説すばる』連載を単行本化。



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	27	28	29	30	31	

 塗りつぶしの日 は 休館 です。

カレンダーのないタイプでつくってみました。
松本K・古家Kには伝えましたが、しらっとカレンダーないものを作ってみました。(*;)
5/13 seri